

交換留学帰国報告書

記入 | 2020 年 5 月

所属 & 学年 | 工学研究科化学システム工学専攻

卒業予定 | 2022 年 3 月

留学先大学	リーズ大学
留学先国	イギリス
留学期間	約 7 ヶ月 （修士 1 年次に留学）
留学開始 - 終了	2019 年 9 月 16 日 - 2020 年 3 月 23 日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

① 留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

リーズ大学での交換留学を決めた理由は、リーズ大学が自身の専攻である材料工学を含む化学工学の分野において QS 世界大学ランキングでトップ 100 に入るためです。また、リーズ大学には興味のある研究室があり、そこで研究活動を行いたいと思いました。加えて、イギリスの大学の修士課程は 1 年間であり修士論文以外のすべての過程をこの交換留学で経験できることも魅力だと感じました。

② 留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

交換留学に応募するきっかけとなったのは、大学 3 年時に参加したノースカロライナ州立大学での短期研修です。研修中に大学の研究施設を見学させていただく機会があり、施設の規模の大きさに驚きました。同時に現地の学生が熱心に研究活動に取り組み、授業中も活発に発言している様子を見て、海外の大学で学ぶことに大きな魅力を感じました。また大学での研究活動を通して自分の研究を正確に伝えることの大切さを痛感し、英語で研究内容を伝える能力を身に着けたいと思ったことも動機の 1 つです。

③ 留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
アメリカ ノースカロライナ州	学部 3 年	短期研修、約 3 週間
イギリス ロンドン	学部 2 年	観光旅行、約 2 週間

④ 実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

交換留学の応募に必要な IELTS の準備を半年ほど前から始めました。

⑤ 海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

具体的な回数は覚えていないのですが、交換留学の申し込みから語学対策など、いろいろなことを相談させていただきました。同じ派遣先大学に留学経験のある先輩も紹介していただき、実際の経験に基づいた情報を得ることが出来たのでとても助かりました。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

IELTS を 3 回申し込み、2 回目で語学条件を満たしました。
私の場合は交換留学への申し込みを決めたのがとても遅く、語学テストの準備も遅れていたため、募集に間に合わせるために IELTS を 3 回同時に申し込みました。IELTS の受験料は非常に高いので、しっかりと準備してから受験することをお勧めします。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関してのアドバイスをお願いします。

単位互換は行いませんでした。交換留学に伴い卒業が遅れるなど、学科内での扱いが複雑になります。海外留学室だけではなく、しっかりと自分の所属している学科の教務課の方に確認しておく必要があります。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

CAPE 1700 Topic in Nanotechnology
ナノテクノロジーに関する様々な分野の研究を、それぞれの先生が週替わりで紹介するオムニバス形式の講義です。基礎的なことはもちろん、最新の研究に関する話も聞けるため、とても興味深い授業でした。

ELU 2004 English through Interpersonal Communication
正しいコミュニケーションの方法を学ぶ講義です。英語力の向上ではなく、自身を正しく理解することで他者と適切なコミュニケーションをとる方法を習得することを目的とする授業でした。

NATS 2100 Introduction to Science Programming
研究に活用するために、Python を基礎から学ぶ講義です。最後のプロジェクトは自分でテーマを自由に選ぶことができ、私は直接自身の専門分野の研究室の先生からプロジェクトをいただいて取り組みました。

CHEM 5710M Lab-Based Project Work X
授業とは別で研究室で研究活動も行っていたため、その研究活動に対してこの授業で単位を出してもらいました。

CAPE 5710M Material Modelling
材料モデリングの授業です。生徒が 4 人だけであり、教授ととても近い距離でディスカッションしながら自身の課題に取り組みます。

CAPE 2710 Materials Synthesis & Characterization
材料の合成と評価を学ぶ授業です。学部生用の授業ですが、カリキュラムがとても体系的でありレベルも高いです。同時に年間を通してグループでのプロジェクトにも取り組むので、多様なメンバーと一つのプロジェクトに取り組む経験も得られます。

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

授業前に授業で用いる資料がオンラインで配布されるので、あらかじめダウンロードしておき、分からない単語などは調べてから授業に行っていました。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

授業でのグループワークではやはりネイティブの人との英語力の差から、初めはあまり議論に参加できませんでした。しかし事前にしっかりと準備しておき、自分の考えを持ってから参加することを心がけていました。英語力で劣っていたとしても自分の考えがしっかりとしていれば、議論に参加することができ、話もきちんと聞いてもらえることを実感しました。

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

大学の周りは学生街という感じであり、治安はいいと思います。週末になると現地の学生は大勢でパブをはしごしながら飲んでいるのでとても賑やかでした。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

キャンパス及び寮の中では大学の Wi-Fi が利用できます。
リーズ大学の近くには大きなスーパーやショッピングモールもあり、不自由なく過ごすことが出来ました。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

大学の公式サイトから Language partner を探し、マッチングした学生と二週間に一度 Language exchange を行っていました。また、授業で仲良くなった学生と時々図書館で一緒に勉強しました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

クリスマス休暇には、フランスに友人がいたのでその友達に会いに行きました。ヨーロッパに留学に行くことの魅力の一つは、他のヨーロッパの国へ比較的手軽に行けることだと思います。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

出来る限り自炊し、バランスの良い食事を心がけていました。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

なし

③加入した保険の種類について教えてください。

☐ 留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☒ 個人の保険のみ

☐ キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☐ はい（種類：）

☒ いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

- ②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

最初の寮はキャンパスから遠く、家賃も高かったため、すぐに寮の部屋を個人間で交換できるスワップを利用して引っ越しました。

次の寮はキッチン、トイレ、シャワーが共用の寮でしたが、特に問題なく過ごすことが出来ました。最初にフラットメイトと何をシェアして使うのかを決め、キッチン用品などを一緒に買うと節約になるためお勧めです。

- ③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

日本の調味料は中国系のスーパーでほとんど買うことが出来るので、持参する必要はないと思います。日本酒や梅酒などの日本のお酒は現地で買うととても高いので、スーツケースに空きがあれば持参することをお勧めします。日本からのお土産としても、とても喜ばれます。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

交換留学帰国報告書を参考にしました。同じリーズ大学に留学した方や工学研究科の方の報告書は特に参考になりました。

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

現地ではほとんど現金を使わず、クレジットカードで支払いを行いました。

iPhone を使用している人なら、Apple pay は世界どこでも使えるのでクレジットカードを登録しておくとても便利です。（現地では電話番号認証の関係で、登録できません...）

- ②奨学金はもらっていましたか？

☒ はい （奨学金名：トビタテ留学 JAPAN 支給額：月 16 万円、留学準備費 20 万）

☐ いいえ

- ③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	¥200,000	
保険代	¥85,000	
予防接種・ビザ代	¥70,000	
住居費	¥240,000	
食費	¥320,000	
教科書代	¥0	教科書は購入しませんでした。

F. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☐ 進学

☒ 就職

☐ その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

海外で活躍できる企業に就きたいと考えています。

同時に、海外で研究を行ったことにより海外 PhD 進学も一つの選択肢として考えるようになりました。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報をお願いします。

行っていません。

F. 留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

学業及び生活面でたくさんの困難がありましたが、とても充実した7か月を過ごせたと思います。英語力に関して、リーディング力とリスニング力は大幅に向上したと思います。しかし、スピーキング力に関しては満足いくほど成長しませんでした。現地では、専門分野の勉強に集中していたため、英語力を伸ばす勉強はあまりできませんでした。やはり、渡航前にもっと基礎的な英語を固めていくべきだったと思います。

- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

名古屋大学のカリキュラムにはない授業を受講し、自身の専門分野に関する知識の幅が大きく広がったと思います。また留学中、海外での研究活動に挑戦したことによって大きく成長できたと思います。今までとは全く異なる環境での研究活動をやり切ったことは大きな自信につながりました。この経験をもとに、今後様々なことに挑戦していくことが出来ると思います。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

トビタテ留学 JAPAN に申し込むことを強くお勧めします。（もしかしたらプログラムの名前は変わっているかもしれませんが。）合否にかかわらず、自分の留学に対してより真剣に考えるきっかけとなります。また、いろいろな分野で留学する人たちと交流できるため、良い刺激になり、留学をより充実したものにしてくれます。

以上